

しちがはま 議会だより

No. 118

平成26年1月15日
宮城県七ヶ浜町議会



せーの！
よいしょー！！

平成25年12月1日に遠山公民分館で遠山地区もちつき大会が行われました。

特集	一部	事務組合	消防と環境がひとつに	2
			各地区で聞いてきました一議会報告会一	4
			防災計画の見直しなど	7人が質問 12
			おらほの幼稚園紹介シリーズー第5回ー	21

一部事務組合の

特集

消防と環境を統合

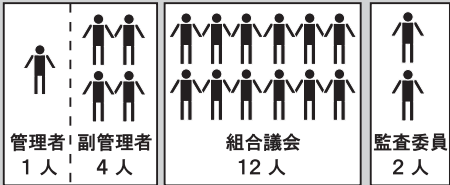


塩釜地区消防事務組合

塩釜地区環境組合

職員
216人

職員
5人



規約変更を
知事が許可

3月31日で

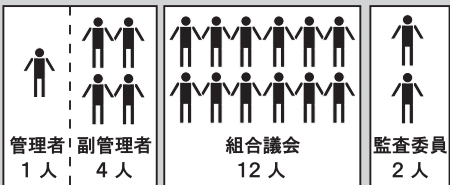
解散

削減経費(決算見込)

人件費	1159万円
(事務局長、非常勤職員)	
管理者、議会経費	348万円
	60万円
合計	1557万円

平成26年4月1日から

塩釜地区消防事務組合
環境課は2階



- 管理者** 塩釜市長
副管理者 多賀城市長
七ヶ浜町長
利府町長
松島町長
組合議会 市議会から各3人
町議会から各2人



議会だよりNo. 111 (平成24年4月25日発行)

ポッケの
ボーちゃん
と
のいのち君



素朴なギモン

組合の職員は消防の方が多いため、消防組合に環境組合を吸収する形で統合するんだよ。

環境組合を解散して消防組合に統合するのはどうしてなの？

事務の効率化を進めるためだよ。構成する市や町が同じ組合を統合すると、人件費等の経費が削減ができるんだ。また、今まで組合ごとに開催していた会議などを集約することが可能になるんだ。

一部事務組合のことは前の議会だよりで教えてもらったけど、2市3町でお金を負担して運営しているんだよね。どうして統合するの？

ほんとはね。そのためには、僕たちも協力していくことが必要なんだよ。

住民が安全で安心して快適な生活ができるようにしてもらいたいね。

し尿処理を行う環境センターは業者に委託しているんだ。斎場の受付等は、業者や利用者にお知らせするのが心配ないよ。

統合することで住民サービスに影響はないの？

そうだよ。でも今後、斎場(火葬場)の移転という大きな課題もあるんだ。そのため独立した環境課を設置して対応していくよ。

環境組合は3月31日でなくなるの？

12月定例会を12月4日から5日までの会期で開催しました。子育て支援センター条例制定や遠山地区避難所建築等の契約、25年度補正予算など23件の議案を審議し、いずれも原案のとおり可決しました。また、一般質問は7人が町の考えをいただきました。今回の特集は、一部事務組合の統合の内容をお知らせします。

議会報告会を開催

土・日曜日の10時と14時に



建設への第一歩

災害公営住宅

問 工事契約を県と行うのはなぜか。
答 町独自では困難なこと、県と一括した工事協定をしているため。

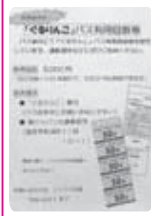
問 遠山保育所の建設でいろいろ問題があるようだが、事前に対処すべきであり、その責任は行政と議会にあると思う。また、その工事監督を第三者に委託できなかったのか。
答 設計と工事監督は一括で発注している。
 (七中仮設・亦楽)

遠山保育所

「こころはどつなのか」

問 ハーバースクエア事業とは何か。
答 漁業、農業、商工業者が市場産品に付加価値を付け販売する6次産業化に向けた事業であり、「道の駅」や「海の駅」のようなものをつくる事業で、現在協議している。
 (東宮浜)

ハーバースクエア事業



1割増の回数券

問 高台住宅など新しい居住区からの「ぐるりんこ」計画は。
答 総務常任委員会で調査している。
意見 回数券の販売を政策課へ要望書を出したが、いまだ返事が無い。金額は1000円、3000円、5000円の3種類とし、50円券は必要ないと思う。もっと利用者の声を聞くべきである。
 (汐見台)

ぐるりんこ

皆さんの声を反映します

東宮浜漁港の雨水対策用フラップゲートの作動不良を前回も要望しているが、早期に整備してほしい。
 (東宮浜)



工事が進む防潮堤

防潮堤の高さが生命と財産を守るということで、海も見えない高さになるようだ。満潮も干潮も分らないでいるのは浜っ子として大変不安であることを考えてほしい。
 (亦楽)

地域でのいろいろな改善面の要望書を町に提出しているが、回答が返ってきることがない。進捗状況など文書でも口頭でも示すべきである。
 (亦楽)

町への意見・要望

汐見小南側の松枯れが目立っている。以前にも2本が倒れている。通学路でも優先して対応してほしい。
 (汐見台)



児童の安全対策を

塩釜市に譲渡する4万㎡の残土を運搬する際に、住宅周辺は減速し安全運転に心掛けてほしい。
 (第1スポーツ広場仮設)

湊浜公民分館は、移転して災害避難所として新たに建設する。備品購入費や移転する場合の解体費用は地区負担になるとのことである。地区には資金がなく困っているのでは何か町の負担で実施するようお願いしたい。
 (湊浜)

議長へ報告



第1班

開催日	開催場所	参加者
11月16日(土)	七中グラウンド仮設住宅集会所	26人
	亦楽公民分館	
11月17日(日)	花洲浜消防ポンプ車置場	26人
	生涯学習センター	

平成25年11月16日と17日に開催した5回目の報告会は、前回より12人減の87人が参加しました。議会だよりに記載した9月定例会の内容に関する質問や、町に対する要望・意見などが出されました。主な内容をお知らせします。



多くの声をいただきました (要害)



第2班

開催日	開催場所	参加者
11月16日(土)	湊浜公民分館	24人
	湊浜仮設住宅集会所	
11月17日(日)	吉田浜コミュニティセンター	24人
	汐見台第2分館	



第3班

開催日	開催場所	参加者
11月16日(土)	要害公民分館	37人
	東宮浜公民分館	
11月17日(日)	遠山公民分館	37人
	第1スポーツ広場仮設住宅集会所	



内容を詳しく説明しました (東宮浜)

補正予算

災害廃棄物の処理は 年度内に終わります

平成25年度一般会計補正予算（第5号・第6号）は、国からの復興交付金第7回配分や災害廃棄物処理への追加、防災避難路の改修など歳入歳出それぞれ15億5614万円を追加し、補正後の予算総額は222億4071万円となりました。

議案審議

新たな環境でのびのびと 子育て支援センターが移転



引越しが楽しみだね

条例制定
●七ヶ浜町
子育て支援センター
内容 旧汐見保育所を子育て支援センターとして住民が利用するため、設置や管理に必要事項を定めるものです。

条例改正
●職員等の
旅費に関する条例
内容 公務のために外国旅行をする職員等に対して支給される支度料を廃止するものです。

工事契約
●遠山地区避難所建築
および環境整備工事
契約先 (株)諏訪工務店
金額 8856万円
工期 平成26年8月29日

財産の取得
●消防資機材（パルリン式投光機セット）
15セット
契約先 東洋安全防災(株)
取得金額 622万円
仙台営業所



笑顔で接客（アクアリーナ）

工事変更契約
●学校給食センター
改築工事
変更前 4億9140万円
変更後 5億2325万円
契約先 第一建設工業(株)
石巻営業所
変更理由 給湯器など
厨房機器の整備他

学校給食センター
●学校給食センター
厨房用食器類等一式
契約先 日本調理機(株)
東北支店
取得金額 1947万円

**町民テニスコート等
改修工事**
変更前 1億3125万円
変更後 1億3479万円
契約先 (株)浅沼組
東北支店
変更理由 駐車場への
外灯の設置他

代ヶ崎浜西地区
●代ヶ崎浜西地区
取得金額 6708・74㎡
6000万円

**町民テニスコート等
改修工事**
変更前 1億3125万円
変更後 1億3479万円
契約先 (株)浅沼組
東北支店
変更理由 駐車場への
外灯の設置他

質 疑
●主な使用目的は、
震災復興推進課長
津波を防ぐための防
災緑地にする。

質 疑
●これまでの運営が高
く評価されているが
今後の特徴ある事業展開
は、
副町長 フィットネ
スを利用した高齢者
向けのトレーニングや、
プールでの病後のリハビ
リ等をお願いしていく。

質 疑
●災害廃棄物処理(県に
追加支出
(8億7704万円)
県での処理は最終段
階に近いと思うが、
今後の見通しは、
環境生活課長 今年
度中に終了する予定
であり、多少の追加はあ
っても金額的に大きなず
れはないと考える。



解体中の焼却設備（宮城東部JV）

**防犯避難路の改修
(5522万円)**
問 工事箇所と内容は。
答 総務課長 菖蒲田浜
・韭ヶ森付近の手すり
と舗装および代ヶ崎浜西
から多聞山入口に至る付
近の外灯設置を予定して
いる。

**総合スポーツセンター
仮設住宅排水管修繕
(4577万円)**
問 工事内容は。
答 地域福祉課長 雨ど
いと地中排水管の修
繕を予定している。

**住宅用太陽光発電
設置補助を追加
(480万円)**
問 利用状況と、追加件
数は。
答 環境生活課長 被災
住宅での利用が多く
不足が見込まれる。平均
単価を12万円と見て10件
を追加している。

お も な 内 容

一般会計		補正額
歳入	国の補助金（第7次25・26年度配分）	9億8427万円
	国の補助金（災害等廃棄物処理へ追加）	2億8146万円
	地方交付税の追加	1億3346万円
	基金繰入金その他の計	1億5695万円
	歳入補正合計	15億5614万円
歳出	災害廃棄物処理およびコンクリート殻再生等 復興交付金基金へ追加	8億9971万円
	災害廃棄物一次仮置場原状復帰費の減額	9億8427万円
	水道高料金対策補助へ	▲5億8712万円
	移転促進区域内の埋設管等撤去設計委託料へ	1億2725万円
	県道整備に伴う下水道管移設設計委託料へ	1580万円
	亦楽小学校屋上の防水工事設計委託料へ	1050万円
	人件費の調整等その他の計	100万円
歳出補正合計	1億473万円	
		15億5614万円

※金額は千の位で四捨五入しています。

第4回定例会 提出議案採決結果一覧 (12/4~12/5)

議案名	掲載ページ	賛成	反対	議決結果	阿部慶也	我妻周悦	千葉志美枝	郷石近剛史	歌川渡	遠藤久和	角靖志	大町睦夫	糸久博	遠藤喜二	鈴木勝美	渡邊淳	阿部和夫	鈴木初雄	岡崎正憲	佐藤梶信	
職員等旅費条例の改正	7ページ	15	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
財産の交換、譲与等条例の改正	—	15	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町税条例の改正	—	15	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
子育て支援センター条例の制定	7ページ	14	1	可決	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町営住宅条例の改正	—	15	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
遠山地区避難所建築及び環境整備の工事契約	7ページ	15	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
菖蒲田漁港海岸災害復旧の工事契約	7ページ	15	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成24年度学校給食センター改築工事の変更契約	7ページ	15	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成24年度町民テニスコート等改修工事の変更契約	7ページ	15	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
代ヶ崎浜西地区の財産取得	7ページ	15	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
消防資機材 (ハルーン式投光機セット) の財産取得	7ページ	15	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
学校給食センター厨房用食器類等の財産取得	7ページ	15	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
アクアリーナの指定管理者の指定	7ページ	15	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
字の区域変更	—	15	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
塩釜地区消防事務組合規約の変更	2ページ	15	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
塩釜地区環境組合の解散及び財産処分	2ページ	15	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成25年度一般会計補正予算 (第5号)	6ページ	15	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成25年度下水道事業特別会計補正予算 (第3号)	—	15	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成25年度国民健康保険事業特別会計補正予算 (第2号)	—	15	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成25年度公園墓地事業特別会計補正予算 (第2号)	—	15	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成25年度介護保険特別会計補正予算 (第2号)	—	15	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成25年度水道事業会計補正予算 (第2号)	—	15	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成25年度一般会計補正予算 (第6号)	6ページ	15	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○賛成 ●反対 議長 (佐藤梶信) は採決に加わらない。



改修工事の子育て支援センター

**子育て支援センター
条例制定に反対**

歌川 渡

条例の中に「施設、設備、備品等の損傷」の原状回復または賠償に対し、「使用者の故意または過失による」とある。「過失」の削除を求めたが認められないので、本条例制定に反対する。

平成25年10月15日に第4回臨時会を開催しました。3地区の災害公営住宅整備の工事契約を審議し、原案のとおり可決しました。

臨時会
臨議

代ヶ崎浜地区 (立花)
鉄筋コンクリート造2階建て 24戸
平成27年8月完成予定

吉田浜地区 (台)
木造平屋建て 6戸
平成27年3月完成予定

花洲浜地区 (五月田)
鉄筋コンクリート造2・3階建て 50戸
平成27年6月完成予定

菖蒲田浜地区 (林合)
鉄筋コンクリート造3階建て 100戸
平成27年10月完成予定

松ヶ浜地区 (西原)
木造平屋建て 32戸
平成27年3月完成予定

完成イメージ模型

全地区で災害公営住宅の
整備が始まります

工事契約

●菖蒲田浜地区
災害公営住宅整備
契約先 宮城県
金額 24億4723万円

●花洲浜地区
災害公営住宅整備
契約先 宮城県
金額 11億7665万円

●代ヶ崎浜地区
災害公営住宅整備
契約先 宮城県
金額 5億6560万円

質疑

問 災害公営住宅建築整備はRC本体工事だけでなく建具や窓ガラス、照明などさまざまな業者が関わる事業である。工事請負契約の条件として、今後県が入札するにあたって、住宅等建築に関わる事業を地元事業者に優先して請け負わせるような配慮がされているのか。

答 町長 地元業者が請け負える事業には、配慮してもらえよう県に要望したい。

討論

反対討論 歌川 渡 (3議案とも)
災害公営住宅すべての工事を県に請け負わせることには賛同できない。地元業者がたくさんいる。地元企業の育成・雇用を確保することこそ行政の責務であり、町の経済発展に繋がる。県に要望するのではなく、請負の条件として求めることから反対する。

賛成13
反対2
賛成多数で可決

議決結果 (3議案とも)
賛成13
反対2
賛成多数で可決

委員会レポート

これも議会の仕事です

総務

新しいメンバーによる所管事務調査事項は、住民が利用しやすい交通機関の確立として、次の2点を調査します。

- ①くるりんご運行の検証と改善
- ②交通システムの多様な活用

進む高齢化社会で交通弱者を支えるためにも、くるりんごの利便性向上を図ることで住民に喜びと希望を与えることを目標に掲げて取り組みます。



利用しやすい運行を

利用者に愛されるバスを



参考になれば (塩釜市)

平成25年10月23日に担当課から、震災後、運行状況の報告を受けた後に質疑を行いました。

現状はマイクロバス4台で運行し、利用客もいくらか増加傾向ですが、1便当たり平均約7人の利用です。もっと乗客数の増加に営業努力の必要があるのではと感じられます。

また、利用者から要望された回数券の取り扱い、11月19日から開始されました。

平成25年11月7日に行われた県議会議員会主権の広報研究会で、議事録よりNo.117のクリニックを受けました。講師は広報コンサルタントで全国コンクルの審査委員でもある深沢徹先生です。本町は全体構成を含め高い評価もありましたが、タイトルに陰影を多用しないことなど数点の指摘も受けました。今後、読みやすく、分かりやすい紙面づくりを心がけます。

産業建設

塩害農地を改善し稲作へ

東日本大震災以降、農地の塩害問題は深刻です。昨年は2年ぶりに稲作ができましたが、まだ半数近くの農家が生活の不安を抱えています。早急な問題解決のため、調査事項を「農地の復興対策について」と決め活動をスタートしました。農地の塩分濃度が現在のよう



塩分濃度を測定

になっっているのか、状況を把握する必要があります。平成25年10月31日塩害農地の現地視察を行いました。阿川沼揚排水機場や花刈浜、吉田浜、代ヶ崎浜の人工池排水路など、町内16地点の農業用水路の塩分濃度測定を行い記録表にまとめました。稲作可能な基準値は0.6%

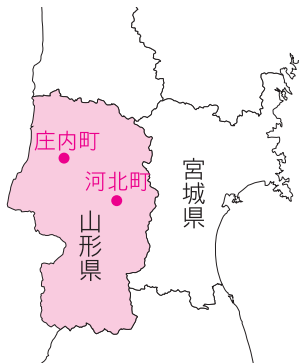
議会広報

議会だよりのクリニックを受けました



編集姿勢を学ぶ (庄内町)

平成25年11月7日に行われた県議会議員会主権の広報研究会で、議事録よりNo.117のクリニックを受けました。講師は広報コンサルタントで全国コンクルの審査委員でもある深沢徹先生です。本町は全体構成を含め高い評価もありましたが、タイトルに陰影を多用しないことなど数点の指摘も受けました。今後、読みやすく、分かりやすい紙面づくりを心がけます。



教育民生

2学期制導入を検証

委員会では、これまで全国学力調査の結果を踏まえ、本町の学校教育における児童・生徒への教育指導状況を調査してきました。

今回は学校教育環境の充実のため、次の4点を調査します。

- ①2学期制度を取り入れたことによる児童・生徒の教育環境の変化や、学力がどのように向上しているのか。
- ②東日本大震災を受けた児童・生徒の学力への影響。仮設住宅等手狭な住居環境での学力への影響
- ③全国学力調査での被災県(特に岩手県、宮城県、福島県)の沿岸部にある小・中学校の学力の変遷
- ④改築される七ヶ浜中学校と学校給食センター建設の進捗状況。



教育環境は充実しているか

容の記事になっていきます。今回の視察では、両町から自分たちにならないものを積極的に取り入れようという姿勢や、原点に戻るこの大切さを学びました。早速、インタビュ1等による町民参加の記事を増やすなどの改良を加えることになりました。今後、町民の皆さんから読んでいただける議会だよりにしていきます。ぜひご意見をお寄せ下さい。



ひろし 博
ひさ 久
いと 糸

防災計画書を改定する理由は

町長 改善点が見えたため

ひとロメモ

七ヶ浜町地域防災計画
災害対策基本法に基づき町の防災会議が作成する計画で、災害対策の骨格となるもの。

問 七ヶ浜町地域防災計画が改定される。東日本大震災（以下、3・11）の経験と教訓から見直したのと思うが、主な理由は何か。
答 町長 ①災害対策基本法や国、県の防災計画の改定。
②住民との協力の重要性を再確認するとともに、防災体制や情報、避難所運営などの改善点が見えたこと。
③原発事故の対応を明記したこと。

問 計画案を公表し、町民等に意見を募集した。寄せられた声をどのように反映させたのか。
答 案の段階で計画の趣旨や内容を公表し、広く意見を求めて最終案を作成する。意見の概要と町の考えを整理し、防災会議に結果を報告する。

問 東北電力(株)とは災害時における電力設備の復旧に関する協定を締結している。緊急事態への対応は、県と情報交換を密にながら近隣市町の動向を見極めて検討していきたい。
答 計画書の完成予定および、作成部数と配付先はとことか。
問 総務課長 3月21日までに150部を作成する。役場の各課や議員、区長、自主防災会などに配付する。



自助、共助で減災を（菖蒲田浜防災訓練）

問 3・11を教訓に井戸が見直されている。現在、町内に登録している井戸の数は。

井戸の活用を

答 町長 平成17年度に災害応急用井戸の登録制度を導入した。21件を登録したが、8件が地震や津波で使用不能となった。今後も情報の共有を図りながら、登録の普及促進に努めたい。



3・11を忘れないために

問 3・11巨大津波の猛威を伝承していく必要がある。到達した津波の高さを示す標識等を設置する考えは。
答 町長 町内4カ所に寄贈された波来の地の石碑がある。標識は、町の復興状況をみながら避難誘導標識の整備と併せ、到達に関する情報を加えた津波注意標識などを順次設置していきたい。

後世へ伝える標識を

ひとロメモ

波来の地（はらいのち）
宮城大学と石巻専修大学の学生が、県内の津波到達地点に建てた高さ1mの石碑。七ヶ浜町には、汐見小前、同性寺向かい諏訪神社境内、花刈浜安場に建っている。



ズバリ

町政を問う

一般質問一覧表

12月定例会の一般質問は、4日と5日の2日間行い、7人が活発な議論を展開しました。内容は質問者の原稿を原文に近い形で13ページから19ページに掲載しています。なお、タイトルは通告のとおりです。

糸久博 ……13ページ

- 町民の安全・安心対策について

渡邊淳 ……14ページ

- 道路整備計画における具体的な推進対策について

千葉志美枝 ……15ページ

- 地域防災計画と福祉避難所の指定・締結について

郷右近剛史 ……16ページ

- 「(仮称)七ヶ浜町教育支援センター」について
- 今後の観光対策について

歌川渡 ……17ページ

- 生活困窮世帯へのセーフティネット対策、対応について
- 住宅再建の拡充をパート1
- 住宅再建の拡充をパート2

遠藤喜二 ……18ページ

- がれき金属換金着服について
- 復興まちづくりワークショップについて
- 中学生に介助実習の授業を

鈴木勝美 ……19ページ

- 津波防災緑地・都市公園の整備は
- 飛ヶ崎の保護は一日も早く

福祉避難所を指定し締結を

町長 防災計画の策定後 順次進めたい



しみえ 志美枝
ちば 千葉



わたなべ あつし
渡 邊

問 国土交通省では、平成24年度末の政府の緊急経済対策の一つとして、防災対策の必要性から、**道路ストック**の概念を事業に展開している。道路点検で実態を把握し維持修繕・更新費用の将来を予測し、持続可能なインフラ管理として、損



危険な道路（菖蒲田浜）

傷が深刻化してから大規模な修繕を行う「事後保全」から、損傷が軽微なうちに修繕を行う「予防保全」へ転換を図っている。さらに第三者被害を防止するため、法面や構造物などの異常を把握し、道路管理者として未然防止策をとることになっている。浸水区域の道路計画と道路改修の取り組みと推進策は、

答 町長 県で実施する場所と町で実施する場所に分かれる。町で大規模に実施する場所は8路線で、菖蒲田漁港から海岸付近を通り県道を交差し汐見台南入り口までを、幅員6mから8.5mに拡げる計画である。さらに東宮浜と要害地区7路線は最大50mの高上げを計画している。幅員の拡幅は家屋密集地区でもあり困難な所もある。

危険な道路の未然防止策は 町長 パトロールと個別協議で対応

問 区画整理事業に接続する道路整備計画の優先順位は、

答 区画整理に接する道路で幅員が確保されていない道路は代ヶ崎浜B地区（西・清水）の道路である。代ヶ崎海岸線は幅員6m、清水線は4m幅員に拡幅し避難路として使えるよう設計中である。花洲浜地区については同姓寺前の道路を幅員6mに拡幅する。いずれも災害交付金の効果促進事業で平成26年度からの着工を予定している。菖蒲田浜中田地区は災害復興事業での整備は難しく別の事業を考えている。事業を進めていくには用地の協力が必要となる。

問 道路管理者の責任である安全確保に関して道路の危険箇所（民有地も含めて）をどのように調査し、地元の要望などを道路整備計画に反映するのかが、

答 道路ストック総点検事業を実施している。次年度以降点検していく。日々の点検として道路利用者の安全を確保するため、月一回職員で町全域のパトロールを行う。道路整備計画は拡幅や側溝整備が主で、地区の要望と現地調査の上、必要性和緊急性を考慮して計画する。

ひとロメモ

道路ストック
持続可能で豊かな社会の実現は、価値ある社会資産が長期的に蓄積（ストック）される。何度も作りなおす無駄が省かれた結果、経済的なゆとりが生まれ、環境に対する負荷も少なくなるという概念である。

問 町は東日本大震災が発生した後、町内3カ所の介護施設を指定し、要介護者などの避難と安全確保に努めた。平成23年6月定例会で要介護者の避難所確保を求める質問をした。その後、福祉避難所の位置付けとして関係機関とどのような連携をしたのか。

問 一般の避難所では生活が困難な障がい者（身体、知的、精神）の避難所として、広域的に宮城東部自立支援協議会へ提案していくとのことであったが、現在どのような対策をしているのか。

問 高齢者や要介護者、障がい者が迅速に避難し、安心・安全が守られるよう、日頃から町内外の特別養護老人ホームや障がい者福祉施設を指定し災害時の福祉避難所として締結する考えは、

問 現在見直し中の地域防災計画に、これらの内容はどのように盛り込まれるのか。

答 町長 平成24年10月策定の町避難所計画では、老人福祉センターを福祉避難所として位置付けている。地域密着型特別養護老人ホームの七ヶ浜自生苑をはじめ、公共施設以外にも老人ホームやデイサービスセンターなど、福祉避難所としての位置付けを協議していきたい。

答 町では現在「あさひ園」を障がい者福祉避難所として活用できないか検討している。平成元年に建てた作業所とその後増築した精神障がい者用サロンは独立した環境となっている。

答 町では現在「あさひ園」を障がい者福祉避難所として活用できないか検討している。平成元年に建てた作業所とその後増築した精神障がい者用サロンは独立した環境となっている。



地域の要介護者を支える自生苑



うたがわ わたる
歌川 渡

水道加入金などの軽減を図れ

町長 現時点で町独自支援はない



団地造成が行われています (菅蒲田浜中田)

問 防災集団移転促進事業の移転費用補助として、住宅入居時の水道加入金と災害公営住宅の敷金を国に求める考えはないか。

答 町長 国・県では補助の対象にならないとの判断である。

問 町独自で補助する考えはないか。

答 水道加入金は、すでに再建し納入している方もおり、これからの軽減は難しい。給水装置の徴収金のため補助でき

ない。敷金は、入居者の意向を調査し検討したい。

問 災害公営住宅の政令月収が15万8千円を超過すると6年後から家賃が増加し、10年後は倍額と試算されている。国に制度による軽減措置を求めるとともに、町の軽減策を求め。

答 制度の主旨に沿って対応する。超過家賃入居者には他の公的住宅その他の行政支援で対応する。

町長 生活保護申請に拒否感がある

問 浸水区域外でも宅地が地盤沈下した世帯や全壊等での建て替え、大規模修繕など、突然の支出で財政的負担が重く、今後の生活が大変である。町の独自支援を求める声が多く聞かれる。住宅被害を受けたのは同じである。高上げや建て替え、修繕費用への支援を行う考えはないか。

答 町長 復興基金交付金が地震被災にも活用できるよう国・県に制度改正や地震被害分を見込んだ交付額の増額等を要望している。

生活困窮世帯へ支援の充実を図れ

問 町内に住んでいるSさんは、水道料金や電気料、租税滞納で1年以上水道や電気が止められていた。7月に生活相談を受け、保護を受給することになった。この間Sさんに対してどのような生活指導や支援を行ったのか。

答 町長 昨年6月の給水停止後、職員と地区民生委員が生活相談に

行った。その時、扶養義務者に援助等の有無確認照会状が送られることに承知できないとのことで申請には至らなかった。その後2度ほど面接したが、本人は働いて自活したいと申請を拒んだと聞いている。担当課では本人の生活保護申請に拒否感があり、静観するしかないとの結論となって今日に至った。

問 Sさんのような生活困窮者は何世帯あるのか。

答 1世帯あるが、生活保護は拒否している。



たけし こうこん
郷右近 剛史

「海が見える小さなレストラン」を復興が最優先である

問 前回の定例会で、町長は「生かす・繋ぐ・見せる」をキーワードにまちづくりの一環としての観光を模索していくと回答したが、本町における生かす・繋ぐ・見せる観光事業として、具体的にどのようなイメージを持っているのか。

答 町長 具体的なイメージは持っていない。今後の方向性として、生かすとは町が持っている観光資源を生かすこと、繋ぐとは観光資源をお互いに結び付けること、見せるとは五感を含めて感じる・体験することだと考えている。特に、町の資源を町外の人と繋ぐために、どのような方法があるのかも十分に検討する必要がある。

問 本町における生かす・繋ぐ・見せる観光事業として、海が見える小さなレストランを実施する考えはないか。

答 町内の海沿いに食事ができる施設があればよいとの考えは、賛同するところである。



岡山県美咲町の「たまごかけごはん」

現在は、町の復旧・復興が最優先である。町のレストランとして、直接建設・運営することは現時点では考えていない。やる気のある方が民間資本により事業を行うことは歓迎する。

問 海が見える小さなレストランは、七ヶ浜町の海苔や魚介類を生かす。海苔ごはん、付加価値を付けた七ヶ浜産の魚介類で町と観光客を繋ぐ。海苔すき体験で観光客に町の歴史を見せる。これこそ、町長が言う生かす・繋ぐ・見せる観光事業であると思うが、なぜ実施できないのか。

答 民間活力の最たるものと考える。

問 町主導で観光事業を実施し、成功した自治体として岡山県美咲町がある。町長がリーダーシップを取り、担当課職員は柔軟な発想を持ち、地場産品を生かした「たまごかけごはん」などの観光事業に取り組んでいる。美咲町の取り組みをどう思うか。

答 観光事業の前に町民が住んでよかったと思う町をつくるのが最優先である。その結果として、交流人口が増えるのが一番いいのではないかと思う。

問 震災後であり、民間がやるのは厳しい。町が旗振り役として、先頭を切って、積極的に観光事業に関わる姿勢はないのか。

答 町は、あくまでも支援のほうである。

問 教育支援センターを設置する構想は。

答 教育長 現時点では計画構想の段階である。

こんな質問もました

都市公園にスポーツ施設などを

町長 設置は難しい



すずき かつみ
鈴木 勝美

問 津波防災緑地都市公園に健康の保持を考えた屋外スポーツ施設や自然と動物とのふれあい広場を設置する考えは。

答 町長 公園内に入スポーツ施設、ふれあい広場の設置や整備は、東日本大震災復興交付金で充てられないため実施は難しい。小動物による公園の維持管理、経費削減を試験的に行っている所はあるが県内にはない。気候風土に無理がある。

問 スポーツをすることにより介護費、医療費が削減される。健康が保てる場合。町内のグラウンドゴルフ愛好者が町外に行き練習しているが、理解するが実行は難しいと考える。

答 町長 スポーツをすることにより介護費、医療費が削減される。健康が保てる場合。町内のグラウンドゴルフ愛好者が町外に行き練習しているが、理解するが実行は難しいと考える。



えんどう よしじ
遠藤 喜二

問 進行役3人の1時間あまりの自己紹介と講話は意図があつての洗脳とみられる。初めて参加する住民の意見を重視するスタンスはあつたのか。

答 町長 震災復興推進課長により理解度が違った。現状を知ってもらいたかった。すべての参加者が復興まちづくりに共通の理解がある訳ではない。



町民参加のワークショップ

問 震災復興推進課長により理解度が違った。現状を知ってもらいたかった。すべての参加者が復興まちづくりに共通の理解がある訳ではない。

答 町長 震災復興推進課長により理解度が違った。現状を知ってもらいたかった。すべての参加者が復興まちづくりに共通の理解がある訳ではない。

町民参加のワークショップの意義は

町長 多くの意見を拝聴したい

問 終わってから、参加者が呼び止められ、「いろんなことを言ってもできることとできないことがある。要望しか出ていない。」と言われたら町民の意見を軽視した発言ではないのか。

答 町長 決して排除する訳ではない。町に住む方の意見を拝聴するため希望者の参加はPRしている。さまざまなお声を通じて住民との協働による復興まちづくりを実現したい。最善の

問 他県の中学校で高齢者に対する思いやりと「共感的要望」で大学での介助実習を行っている中学校がある。本町の考えは。

答 町長 思いやりの教育を取り組みとして総合学習の中で福祉教育学習を行っている。高齢者体験用の教材やアイマスク等を使用した体験で、相

問 過去2回、一般質問しているが、がれき金属換金の経過状況はどうか。

答 町長 立件するには適法な被害届の調整が必要である。客観的な裏付けが不明確であり、自供だけでは立件できない。警察では継続案件として取扱いをする。町としては捜査の進展に期待したい。

中学生に介助実習体験を

教育長 いろいろな体験をさせたい

問 他県の中学校で高齢者に対する思いやりと「共感的要望」で大学での介助実習を行っている中学校がある。本町の考えは。

答 町長 思いやりの教育を取り組みとして総合学習の中で福祉教育学習を行っている。高齢者体験用の教材やアイマスク等を使用した体験で、相

問 過去2回、一般質問しているが、がれき金属換金の経過状況はどうか。

答 町長 立件するには適法な被害届の調整が必要である。客観的な裏付けが不明確であり、自供だけでは立件できない。警察では継続案件として取扱いをする。町としては捜査の進展に期待したい。

町長 現状での立件は困難

がれき金属換金の経過状況は

飛ヶ崎の崩落の対応は

町長 民有地のため対応は難しい

問 震災により以前よりも激しい崩落が見られる。安全のための対策をどう考えているのか。

答 町長 震災前、漁港人が立ち入らないように安全対策を実施してきた。

問 景観保護のためにもテトラポットを置くことにより、安全と危険防止につながると思うが。

答 町長 民有地であり町としても対応に苦慮している。西側が宮城県の管理にあり現状では直接保護することは難しい。原則として所有者が自己責任で危険を防止する責務がある。

問 民有地といええ上の危険さ全く違う状況にあり県に要望してはどうか。

答 町長 民有地所有者は宗教法人であり難しい。



飛ヶ崎の現状

問 宗教法人に対し対策の指導を行っているのか。

答 町長 以前に照会した経緯があるが進まない。町有地にバリケードで対応している。

問 毎日といったもいいう程地震が起きている。今後の安全のためにも検討が望ましいが。

答 町長 宮城県の管理部分もあり何らかの対策を講じてもらうよう要望したい。



学校法人 同性寺学園
遠山幼稚園・遠山保育園



写真は2学期の行事より



【教育目標】

仏教保育を基本として、「きまりを守り、みんな仲良く集団生活を楽しむ」
「生き物を大切にす」
「社会や自然の恵みに感謝する」

この三点を柱とし、情操教育を行います。

保育方針は、明るい環境と豊かな自然の中で一人ひとりを大切に、くつろいだ雰囲気の中で伸び伸びと育てていけるようにしていきます。

【沿革】

本園は昭和43年に学園の2番目の幼稚園として遠山地区に開園以来、卒園児は3300人を超え、昭和63年に園舎改築、平成3年園舎増築、現在は二世代目の園児が登園するようになりました。平成23年4月から、幼保連携型の認定こども園の認可を受け保育園を開設し、75人の保育園児も在籍しています。



幼児期は、遊びを中心とした楽しい集団生活の中で、人とのかかわりを通して社会生活上のルールや道徳性を培い、将来にわたって心豊かに生きる人間に成長するために、昔から「よく学び、よく遊ぶ」と言われています。幼児は、無心に遊ぶことよって、新鮮な好奇心を抱き、探究心や喜びを感じる心を育てていきます。幼児にとって、遊びは大切な学びの場です。



利用者の声インタビュー

相沢卯一さん(代々崎浜)

- Q テープが届くのをお待ちにしていますか？
A 楽しみで、2~3回は聴きます！妻も楽しみで聴いているようです。点字よりも声で聴けるのがなにより。
Q 出来具合は？
A 他市町のテープも聴きますが七ヶ浜の出来は格別です。また、良く続けてもらっていると感謝しています。これからも声の広報を続けてもらいたいですね。



地元の仲間と(多聞山にて)

5 送付

- ご家庭にお届けします。

4 申し込み

- 申し込みは政策課で受け付けます。

連絡先
〒985-8577
七ヶ浜町東宮浜字丑谷辺5-1
町役場 政策課 広報係
022-357-2117 内線 332

声の広報ができるまで

本町には「声の広報」があります。町の広報「しちがはま」、議会広報「議会だより」が発行されるたびに、テープに吹き込んだ「声の広報」が希望者に届けられます。平成6年から続いており、朗読サークル「きずな」のメンバーがボランティアで作成しています。どのようにして作られるのか取材しました。

議会だより
ができました



町の広報
ができました



1 1回目

- 発行された広報の中で、取り上げる記事と、読み手を決めます。
- 家に持ち帰り、字句・用語の確認をしながら担当記事を読み上げます。

2 2回目

- 全員で読み合わせ、不明な部分の確認をして準備を完了します。

3 3回目

- 1日をかけて、録音本番。緊張します。
- 録音テープの完成です。

作成者の声をインタビュー

- Q 始めたきっかけは？
A 視覚障がい者の会(ふれあいの会)向けに始めました。
Q 今はどのような思いで録音していますか？
A 聴きやすいテープになるようにいねいに録音しています。楽しみにしてくださる方々がいるから録音させてもらえると思っています。ひとりでも多くの方々に聴いていただければ幸いです。

クイズ？

<3択から選んでね>

問1 塩釜地区消防事務組合と塩釜地区環境組合が4月から統合されますが、統合後の名称は。

- ① 塩釜地区消防事務組合
- ② 塩釜地区環境事務組合
- ③ 塩釜地区消防環境事務組合

問2 議会報告会はいくつかの班に分かれて開催しています。さていくつでしょうか。

- ① 2つ
- ② 3つ
- ③ 4つ

問3 旧夕見保育所に移転し、設置される施設は。

- ① 母子健康センター
- ② 子育て支援センター
- ③ シルバー人材センター

応募方法： はがきにクイズの答え、氏名、住所、年齢、議会へのご意見を書いてお送りください。

(メール可)

正解者の中から抽選で3人の方に図書券を進呈します。

あて先：〒985-8577七ヶ浜町東宮浜字丑谷辺5-1

七ヶ浜町議会事務局 議会だより係

Eメール gikai@shichigahama.com

締切先：平成26年2月14日 (当日消印有効)

前号の答え：問1 ③ 問2 ② 問3 ②

当選者：船木美恵子さん、佐藤美咲さん、内藤彩夏さん

当選者からひと言

初めて「しちがはま議会だより」をしっかりと読みました。来年20歳になり選挙権を持ち、政治や経済に関わりを持つようになると思います。自分の住む町についてもっと知らなければならないと考えてのことでしたが、議会の仕事や町の課題などが分かり有意義なものでした。これからは積極的な姿勢で七ヶ浜町に興味を持っていきたいと思っています。

議長	佐藤 梶信	副議長	渡邊 淳	委員 長	遠藤 喜二	委員 長	角 靖志	副委員 長	千葉志美 枝博	委員 長	糸久 正憲	委員 長	岡崎 正憲	議長広報編集特別委員会	角 靖志
----	-------	-----	------	------	-------	------	------	-------	---------	------	-------	------	-------	-------------	------

① 受験シーズン到来です。受験生のみなさん、夢を信じて自分を信じて最後まで頑張ってください。私たちが広報委員も受験生に負けないように、より良い「議会だより」を目指して頑張ります。

今年、笹山地区以外の高台住宅団地の造成が完了します。その一方、災害公営住宅の完成は来年にずれ込みます。ようやく復興が身近に感じられるようになる反面、まだまだ我慢の1年です。

新年あけましておめでとうございます。平成26年が町民のみなさまにとって良い年でありましよう願います。



編集後記

町民ふれあいインタビュー

昨年12月21日に町内2カ所でボランティアミキコンサートが行われました。遠山出身の佐藤達哉さんのピアノと、幹(miki)さんの歌を聴いて、集まったみなさんは楽しいひとときを過ごしていました。



今回は、コンサートにお母さんと来ていた鈴木亜侑美さん(遠山)にインタビューをしました。

Q今日のコンサートはどうだった？

A楽しかったし、癒されました。

Q平成25年はどんな1年だった？

Aいろいろなことにチャレンジできました。

Q平成26年の目標は？

Aスイミングで3級を取ることです。



亜侑美さん 母 史子さん

議会を監視するのはみなさんです。

一次の定例会は3月5日開会予定です

面倒な手続きはございません。どなたでも気軽に傍聴することができます。お誘い合わせの上ぜひお越しください。詳しくは議会事務局まで TEL357-7435 または、町ホームページ「町民便利帳」をご覧ください。

<http://www.shichigahama.com>